

十一月の村のうごき

- 一 文化祭はじまる。
- 二 第三回村内一周駅伝大会
- 三 健康優良児発表式
- 四 郷土先賢遺墨展(6、7日) 産業育成資金融資委員会
- 五 収穫祭五石賞表彰式
- 六 稲作講演会
- 七 多収権競作会表彰式
- 八 村民囲碁将棋大会
- 九 村民卓球大会
- 十 多収権競作会表彰式
- 十一 村民卓球大会



発行所 岩室村役場 印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.79

出荷米

十二万五千俵を突破 二等は半減四等は二倍

昨年(昭和42年)に続き史上空前の豊作は遂に十二万五千俵を突破した。

米多収権競作会では、過去一回も達成できなかった七百五十*(五石)以上が二百一十*(五石)という喜ばしい成績で、収穫作業がすすめられ、予想通り昨年の記録を大きく引きはなし、十月二十日現在で十二万五千三百十七俵が出荷された。

今年(昭和43年)は春以来好天候に恵まれ、水害もなく、病虫害の被害も受けず、豊作の好条件が揃っていたが、それに更に、増収の熱意と稲作技術の長足な進歩がこの成績を築き上げた。

出荷の内容を農協別に見ると、和納農協が三万九千九百三十二俵で昨年より三千一百一十俵多い。岩室農協は八万五千三百八十五俵で昨年より五千七百四十三俵多く、合計八千七百五十四俵多く出荷された。一俵平均八千二百円とすると約七千二百万円が増収となり、十ヶ当り平均約三十六*の増収である。

等級別を昨年に比較すると、三等は五万四千俵では

岩室村米穀等級別政府売渡実績

年産	米 60 kg 個						規格外	合計
	1等	2等	3等	4等	5等	等外上		
昭和35年	47	10,573	55,031	24,038	236	5	34	89,964
36	53	10,149	39,207	30,615	6,821	1,271	2,826	90,942
37		7,996	62,960	25,208	703		39	96,906
38		7,229	49,747	35,664	1,362	16	644	94,662
39		10,513	52,076	30,281	3,493	135	1,072	97,570
40	45	28,462	54,209	15,097	949	38	358	99,158
41	80	27,282	53,642	16,918	550	62	277	98,811
42	33	28,562	55,854	28,345	3,100	198	471	116,563
43	1	13,166	54,538	54,916	2,680	16		125,317

43年産は 43.10.20現在の実績である。

昭和43年産米等級別売渡実績 60 kg 個

和納農協 岩室村 合計	米 60 kg 個					規格外	合計
	1等	2等	3等	4等	5等		
	(4,389)	(17,494)	(13,504)	(1,311)	(223)		(36,921)
	201	13,603	24,559	1,569			39,932
	(33)	(24,173)	(38,360)	(1,789)	(446)		(79,642)
	1	12,965	40,935	1,111	16		85,385
	(33)	(28,562)	(55,854)	(28,345)	(3,100)	(669)	(116,563)
	1	13,166	54,538	54,916	2,680	16	125,317

43年産は43.10.20現在、()内は42年産の実績

『青年の船』第二陣、全国商工連合会青年部代表として東南アジア訪問に参加した、和納三区佐藤幸男さんより、第一報が村長宛届いた。

与えられた仕事に 誠意を尽すロシア人

佐藤さん東南アジア視察中

晴海を出で三日、突然「島影見ゆ」の報に接し急いで上甲板にとび出す。大山の緑の島あり、台東弱いロシア人」とよききいる。この航海を通じ全国の仲間と一人でも多く接して、日本人を知り、しかもロシア人を知り、大いなる

接待してくれるけれども、よい。船員のワイシャツな彼女らは素朴で全くよく働いて、日本の一番最初に出たのナイロンシャツもそれでも流行のトップのことだ、全くの無報酬で最近式の掃除器を持っていくことだ、二ヶ月間、研日本の一歩最初販賣された進んで、優秀なソ連邦の国威高揚とゆう、国家的使命を感じ満足し誇り高く働くの感に思える。ロシア人の友人友達」とお互いに握手をしたりする風景が「平和」の世のありがたさを、ひとしを強く感ずる。食事は、和洋双方、交互に出るけれども、洋風の方がよい。日本食は少し淡泊過ぎるし、ごはんは、メッコであったり、そして古米のしかも五分ずりのようなせいでもあ

「数学の容も豊富で大変勉強になる。この航海を通じ全国の仲間と一人でも多く接して、日本人を知り、しかもロシア人を知り、大いなる

「自分の部屋に、もどるとは部屋数約四〇〇室、最初は大変おつりのある時など一風変わった、ソロバンで何度ものかをさしやべりながら十分位またたき、その上た。美しい、ロシア娘が、よく間違うのである。計算などは三年生以下といつて

「自分の部屋に、もどるとは部屋数約四〇〇室、最初は大変おつりのある時など一風変わった、ソロバンで何度ものかをさしやべりながら十分位またたき、その上た。美しい、ロシア娘が、よく間違うのである。計算などは三年生以下といつて

十月七日夜船中にて